

1. 保育理念

1	自分を素直に表現でき、情緒豊かな子どもを育てる。
2	あたりまえのことができ、ルールをまもれる子どもを育てる。
3	優しい気持ちを持つ、協調性ある子どもを育てる。

2. 保育目標

1	基礎的生活習慣を正しく身につけ、健康で安全に過ごす子ども。
2	心の優しさ、思いやり、勇気、感動を友だちと共有できる子ども。
3	人の話を聞いて、自分の気持ちを表現できる子ども。よく考え最後までやりとげる子ども

3 本年度の重点目標

1	子ども主体の保育の提供
2	保育環境の配慮
3	保護者への情報発信、地域における子育て支援
4	職員の資質向上
5	小学校との連携

4. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
子どもの発達援助	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を踏まえ、一貫した保育、教育を行う。 配慮を必要とする子どもへの援助の在り方に等について市の発達指導員と連携をとる。
健康管理・食事	感染症が出た時は、情報を提供して、まん延防止に努めた。 アレルギー対応は保護者との連携をとりながら可能な限り個別対応を心がけた。 誤食がないようチェック体制の強化に努めた
保育環境	インシデント、アクシデントマップを作り怪我の再発防止に努めた。 避難訓練を実施し、安全な保育環境を心がけた。
保護者への情報発信	携帯を使った登降園の管理を行うが、つながりにくい時がある。
地域の子育て支援	園庭開放、一時預かりを実施。
職員の資質向上	研修に参加し保育内容の知識を深める。
関係機関との連携	発表会などの園行事にボランティア団体のお手伝いをお願いしたり、招待などし交流した。 中央小学校の1年生と年長児の交流を行う

5. 総合的な評価結果と今後の取組

C	研修や園内研修を通して 園の理念やこども園としてのあり方を各自がさらに深く理解していく必要がある。 スキルアップ研修にも積極的に参加する。 指導計画の形式や記録の方法、職員会議の進め方などを見直す。 アレルギー対応に関しては誤食に対する危機感を共有し園全体で取り組む。 緊急時の保護者への通信システムについて考える。 防災用品の点検の徹底、避難経路の見直しを行う。 保育室の掃除、おもちゃの消毒の仕方などのマニュアルを見直す。
---	---

評価結果の表示方法

A：十分達成されている B：達成されている C：一部検討を要する D：改善を要する